



モーツァルト・セミナー

～ LP レコードとピアノ生演奏で繋ぐモーツァルトの人と作品～
ピアノ演奏とお話：江端津也子

第4回：青年モーツァルトの人と作品

LPレコード(カーサ・モーツァルト所蔵)とピアノ生演奏で明かされるモーツァルトの人と音楽。第4回目となる今回のセミナーは、青年期の充実したピアノ作品の演奏を中心に、モーツァルトの作品の成熟と、17歳から19歳までのさらなる進化を遂げる姿に迫ってみたいと思います。

1773年から1775年まで、ザルツブルクに本拠を置きつつ、第3、4回目のウィーン旅行、ミュンヘン旅行中に選帝侯に依頼されたオペラ「偽りの女庭師」の作曲、この間に、現存するモーツァルト初のオリジナルピアノ協奏曲や、ウィーン四重奏曲(6曲)、交響曲第25番短調、第29番長調もこの時期に書かれています。さらに彼の弦楽五重奏変ロ長調、などの中からLPレコードにより鑑賞します。

ミュンヘンで作曲された6曲のピアノソナタは、モーツァルトのピアノ作品に於いて重要な位置を占める18曲のソナタの中で、生き生きとした活気に満ちた魅力にあふれている傑作揃いです。それぞれの特徴に触れて、その中から数曲演奏してみたいと思っています。

今回もカーサ・モーツァルト設立者の中村澄枝様に、モーツァルトの旅、モーツァルトへの愛についてお話いただきます。毎回大好評のトークもお楽しみに!

現在までのモーツァルトセミナーの流れ(2017年～2018年)

第1回 モーツァルトは生まれた時から天才だった?

第2回 旅の始まりー西方への大旅行

第3回 ザルツブルクに帰ったモーツァルト 開花する才能と音楽家としての自覚

連続してご参加いただいている方のみならず、初めてのご参加も大歓迎です。
モーツァルトの魅力は、どの時期にも満載です。ご参加をお待ちしております。

江端津也子：ピアニスト

東京出身。3歳の時母の手ほどきでピアノを始める。第22回日本学生音楽コンクール入賞。都立芸術高校音楽科を経て東京藝術大学音楽学部器楽科卒。同大学院音楽研究科ピアノ専攻修了。ウィーン国立音大ゼミコンクール第1位。1983年カーサ・モーツァルト開館記念コンサート演奏を機に活動を始め、リサイタル、自主企画サロンコンサート、NHKFM午後のリサイタル、フレッシュコンサートに出演。ポーランド大使館招聘演奏など、ソロ、室内楽、伴奏の活動を行い後進の指導にも力を注いでいる。モーツァルト生誕250年の2006年にピアノソナタ全曲を完奏。モーツァルト作品、近代フランス作品の演奏を数多く手がけ度々演奏会で取り上げている。ピアノを安川加壽子、奥村洋子、河村昭三の各氏に室内楽をアンリエット・ピュイグ＝ロジェ女史に師事。現在、日本演奏連盟、日本フォーレ協会、日本ピアノ教育連盟、モーツァルティアン・フェライン会員。

日時：2019年 1月13日(日) 14:00～16:00

参加費：2,500円 ペアでお申込み 4,000円(2名) ※要予約

ご予約・お問い合わせ

Email: info-cmma@casamoz.org

Tel: 03-3402-1756 Fax: 03-3497-1833

東京都渋谷区神宮前 1-10-23 3階

URL: <http://casamoz.org/>

Casa Mozart
MUSIC ASSOCIATION



JR「原宿駅」表参道入口 徒歩5分
東京メトロ「明治神宮前駅」出口5 徒歩2分